

事務事業総点検に係る対応方針

学校教育部

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
教職員課	枚方市少人数学級充実事業	改善	対象校へのアンケートにより児童への教育効果や保護者の満足度等を調査し効果を検証している。今後も、少人数学級編制を活かした教員の指導の工夫や学校の取組の充実に努めていく。	一次 点検・評価
教育相談課	「いじめ専用ホットライン」推進事業(教育相談事業)	現状のまま継続	相談件数等が増加傾向にあるため、いじめ専用ホットラインをはじめとする教育相談の窓口が、より相談しやすい環境となるよう充実させるとともに、引き続き、全児童・生徒に相談窓口の啓発カードを配布するなど、相談窓口の効果的な広報に努める。 また、本市独自に作成した枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)等を各学校園で効果的に活用することで、いじめの未然防止を図る。	二次 点検・評価
学務課	奨学金事業(補)	改善	国が検討している低所得世帯を対象とした返済が不要の奨学金制度の創設の動向、及び他市の動向を注視しながら、事業の見直しを検討していく。	二次 点検・評価
学務課	就学援助費事業	現状のまま継続	(1)就学奨励については、国の定めた要綱に従い就学奨励費を支給し、就学の奨励を図っていく。 (2)就学援助事業の認定率については、毎年度、他市の状況等を参考に、事業内容が適正と考えられる範囲内にあるかを検証している。 他市との比較にあたっては、認定基準額、制度の周知や申請方法、住民の所得状況等を総合的に勘案している。 ・枚方市の認定基準額は、府内の他の自治体と比較するとほぼ標準的であり、特に高額であるとはいえない。 ・昨今は就労環境が悪化しているため、全国的に認定率が上昇している ・枚方市の認定率は平成22年度の22.4%をピークに漸減しつつある ・枚方市の認定率が全国平均より高いのは、制度周知の徹底を図るとともに、申請しやすいよう配慮しているため等と思われる。 これらの理由から、現在の事業内容は適正な範囲内にあると考えるが、これからも他市の状況を注視しながら、今後も、経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行う。	二次 点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
教育指導課	学校版環境マネジメントシステム事業	現状のまま継続	S-EMSの環境方針の中で、教職員が率先して、学校園から生じる環境負荷の低減を図ることと、幼児・児童・生徒・保護者に向けては、環境保全意識の向上を目指し、環境教育を充実させていくことの2点を示している。今後も環境方針に基づき取組を推進する。	二次 点検・評価
教育指導課	基礎学力向上プロジェクト事業(教育指導課)	現状のまま継続	子どもたちが朝学習、授業、放課後学習等に積極的に取り組む姿が見られる。また、今年度の検証結果から、基礎基本の定着が見られるとともに、子どもたちの「できた」という実感につながっており、自学自習力支援システムの効果が認められる。今後も、放課後学習、授業等における、自学自習力支援システムの更なる効果的な活用方法の研究を進め、継続して自学自習力の育成に取り組む。	二次 点検・評価
教育指導課	「まなびング」サポート事業	現状のまま継続	児童・生徒の基礎学力向上等のため、サポーターと教員がしっかり連携をとるようにしている。サポーターも教員とともに児童・生徒と関わることで、経験を積むことができている。また、サポーターの補助があることにより、児童・生徒にきめ細かな指導ができており、今後も効果的な取組を進める。	二次 点検・評価
教育指導課	学校園活性化事業	現状のまま継続	各校園における教育課題を明確にし、その解決に向け、校内研修等有効な取組を充実させる。教育委員会の主催事業については、幅広く意見を聞きながら、検証を行い充実を図る。	二次 点検・評価
教育指導課	「音楽にあふれた学校づくり」充実事業	休・廃止	平成25年度は、大学生との合同練習会や合同演奏会を実施する。平成25年度の事業完了後に実施するアンケート等の内容を分析するなど効果検証を行い、事業終了後も引き続き、同趣旨の事業の実施や市立中学校における吹奏楽・プラスバンドのスキルアップに繋がる取組等の検討を行う。	二次 点検・評価